



国立病院機構三重病院  
聴覚リハビリテーション科  
白井 智子先生

加齢に伴い増えてくる「きこえ」の悩み。その解消のための頼もしいサポーターとなるのが「補聴器」です。しかし、補聴器を使ってみたものの「うまく役に立たない」「音は聞こえても言葉がわからない」などの理由で止めてしまう方が多くいます。その原因のほとんどは補聴器が適切に調整されていないためと考えられます。補聴器はメガネのように購入してすぐ快適に使えるものではありません。音は耳でなく「脳」で聞いているため、難聴が続いている人の脳は音を聞き取る感覚が高いままになっていきます。補聴器をして「うるさい」と感じてしまうのは、脳が補聴器から

補聴器の快適な使用には適切な調整が不可欠



日本赤十字社愛知医療センター  
名古屋第一病院 耳鼻咽喉科 柘植 勇人先生  
(補聴器フォーラム東海 実行委員長)

3月15日(日)、「補聴器フォーラム東海2026」が、ウインクあいち(名古屋市)にて開催されました。「市民公開講座」では、今まで開催された講座内容の振り返りとともに、「難聴」と認知症との関係や健康寿命に及ぼす影響についての講演のほか、近年増加している補聴器購入に関するトラブル事例の紹介など、満足できる「きこえ」を得るために覚えておきたい補聴器使用に関する情報が提供された貴重な機会となりました。

# 「補聴器」を満足して 使用するために

主催：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会愛知・岐阜・三重県地方部会 愛知・岐阜・三重県耳鼻咽喉科医会 日本補聴器販売協会東海支部  
後援：日本言語聴覚士協会 愛知・岐阜・三重県士会 日本補聴器工業会 愛知県・岐阜県・三重県 名古屋市  
共催：株式会社中日新聞社

入る音に過敏に反応しているためです。そんな方が補聴器を快適に使うためには、1日10時間以上補聴器をつけて脳を慣れさせる「きこえのリハビリテーション」が必要となります。同時に補聴器をつけた状態での「きこえ」のレベルを数値化する「効果測定」も重要です。効果測定を繰り返しながら補聴器を調整することで、快適に使用できるよう段階的に仕上げていくのです。

「聞きづらい」と感じたら早めに「補聴器相談医」へ



中本耳鼻咽喉科  
中本 節夫先生



岐阜大学  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
奥田 弘先生

お手元にある補聴器に不満のある方も、適切な調整により快適な聞こえが得られる可能性は十分にあります。その際、知って欲しいのが、耳鼻咽喉科医の中でも補聴器に関する専門知識を持った「補聴器相談医」の存在です。補聴器相談医であれば難聴の原因となる病気がないか確認し、医療連携している「認定補聴器専門店」を紹介できます。認定補聴器専門店には聴力測定や効果測定を実施できる防音室や専門の測定機器があり、その人に合った補聴器選びと補聴器の適切な調整ができる「認定補聴器技能者」が常勤しています。補聴器の調整には数週間から長い方は数か月かかります。難聴の期間が長いほど調整にも時間がかかるので、「聞こえづらい」によって日常生活に支障があると感じたら、早めに「補聴器相談医」を受診しましょう。

「難聴」と「健康寿命」には密接な関係があります。

得て筆談生活から解放されたとのことでした。「あきらめないで」というご本人の言葉とともに、補聴器の調整の重要性が証明された体験談でした。

今回の市民公開講座では「難聴とフレイル」と題した講演もありました。世界有数の長寿国となった日本ですが、平均寿命と健康寿命の間には女性で約12年、男性で約9年もの開きがあり、健康寿命の延伸は国の大きな課題でもあります。

加齢とともに起こる心身の脆弱な状態を「フレイル」といいますが、「フレイル」は要支援・要介護になる入り口であり、これを予防することが健康寿命の延伸に直結します。「フレイル」の予防介入には運動・栄養・社会参加・生きがい「オールラウンド」多剤併用対策が特に重要で、それらは密接に関係しており、適切な介入によりフレイルを

脱することは十分可能です。この中で重要とされるのが、外とのつながりを持つ「社会参加」ですが、これを阻害する大きな要因となるのが「難聴」です。「難聴」があると人との関わりを避け活動量の低下につながるためフレイルに1.84倍なりやすいという調査結果があります。ひいては介護の原因となる認知症の発症にも深く関係してきます。認知症の約40%は予防が可能とされていますが、そのうち約8%が難聴と関係するとい調査結果もあるほどです。しかし、難聴は補聴器で早期に解決できる可能性があります。加齢性の難聴は少しずつ進行するため気づきにくく、気づいても「歳のせい」と放置しがちですが、早めの対応が大切といえます。

本開催の詳細は下記ホームページにも掲載しています。ご覧ください。  
[hochoukiforumtokai.jp/](http://hochoukiforumtokai.jp/)  
**2027年も開催予定**  
**第6回 補聴器フォーラム東海2027**  
「補聴器フォーラム東海2026」は500名を超える方に会場頂き盛況のうちに終了しましたので、来年も開催予定です。今年参加できなかった皆さまもぜひご参加ください。  
**2027年3月14日(日)**  
会場：ウインクあいち  
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

「補聴器相談医」は「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会」のウェブサイトで見ることができます。



補聴器関連企業スース展示

講習会・適合研修会を開催。補聴器を取り巻く最新情報の提供をはじめ、補聴器の調整におけるオンライン診療の併用のメリットと課題についての講演など、補聴器臨床に直結した学術的な講演と「多様な症例から学ぶ補聴器診療」と題するパネルディスカッションがあり、専門的な立場からの貴重な意見交換の場となりました。

補聴器の「効果測定」ができる  
専門車両「ほちようきカー」を開発

補聴器の適切な調整に必要な「効果測定」ができる機器を完備した、訪問型の専用車両「ほちようきカー」が開発され、市民公開講座の会場敷地内で初公開セレモニーがありました。愛知県をはじめとした東海地区および首都圏の医療機関や介護施設などと連携して今春に実証実験を実施し、2026年度中に「ほちようきカー」を活用したサービスの実用化を目指します。

oticon life-changing technology  
here!  
さて、**Zeal**はどこでしょう?  
NEW Zeal本体(原寸大)  
オーティコン史上初! 多機能オールイン「耳あな型」補聴器  
OTICON | Zeal  
オーティコン | ジール

お問い合わせは **TEL:0120-1133-21**  
www.oticon.co.jp  
〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-3 品川シーサイドTSタワー11階  
TEL.03-5005-1160(代) FAX.03-5005-1161  
※詳細な検査は、耳鼻科専門医を受診してください。補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、着用者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

あなたの声を聞くための  
わたしの補聴器  
きこえは絆  
大切な誰かの言葉や、好きな音楽に、ふと耳を澄ますようにごく自然に使って欲しいから。あなたのきこえに寄り添って、あなたのためにカスタマイズされた最適な補聴器を届けます。補聴器をもっと快適に、あなたらしく。マキチエは、補聴器であなと繋がりたい。  
マキチエ株式会社 本社 〒1103-0027 東京都中央区日本橋3-2-3 <https://makichie.co.jp/>

指定管理医療機器  
耳かけ型補聴器マキチエハート  
マキチエ